



Title	2023年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2024, 21, p. 56-59
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98881
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2023 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2023 年度例会

- *所属・職名は報告当時のものである。
- *例会は全て対面とオンライン（ZOOM 使用）を併用するハイブリッド形式で行った。
- *各回の主たる講演の要旨は、研究会ホームページ（<https://sites.google.com/site/ourekikyo/>）の「活動記録（2023 年度）」に掲載している。

第 150 回例会（2023 年 4 月 22 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集 「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第 1 回

大黒俊二（大阪市立大学名誉教授）

「『岩波講座世界歴史』・個別研究・歴史教育」

コメント：小澤実（立教大学文学部教授）

「中世のヨーロッパ半島をグローバルに捉えること」

田中忍（兵庫県立芦屋高等学校教諭）

「歴史総合・世界史探究と『岩波講座世界歴史 09』—反省と世界史探究の構想—」

第 151 回例会（2023 年 5 月 20 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集 「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第 2 回

荒川正晴（大阪大学名誉教授）

「前近代中華世界とユーラシア東部、東アジア、グローバル化—『岩波講座世界歴史』

第 5～7、10 卷相互の繋がりを中心に—」

コメント：山根直生（福岡大学人文学部教授）

「『岩波講座世界歴史』第三期と唐宋時代史研究」

矢部正明（関西大学中等部・高等部教諭）

「『岩波講座世界歴史 06』に寄せて—高等学校の新科目「世界史探究」にどのように反映できるか?—」

第 152 回例会（2023 年 6 月 17 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集 「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第 3 回

林佳世子（東京外国语大学学長）

「西アジア・南アジアの近世—『岩波講座世界歴史』第 13 卷を中心に—」

コメント：秋山晋吾（一橋大学大学院社会学研究科教授）

「近世の西アジアの西部辺境としてのハンガリー・バルカン」

田村健（大阪府立桜塚高等学校教諭）

「林佳世子「西アジア・南アジアの近世—『岩波講座世界歴史』第 13 卷を中心に—」

を受けて高校教員よりのコメント」

第153回例会（2023年7月22日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第4回

小川幸司（長野県伊那弥生ヶ丘高等学校教諭）

「歴史実践としての世界史を考える」

三谷博（東京大学名誉教授・東洋文庫研究員）

「世界史の中に日本はあるか」

第154回例会（2023年10月28日、大阪大学人文学研究科本館1階中庭会議室）

特集「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第5回

安村直己（青山学院大学文学部教授）

「南北アメリカから見た世界史」

コメント：高橋均（東京大学名誉教授）

「『岩波講座世界歴史』におけるラテンアメリカ地域の扱いの回顧と研究の発展」

徳原拓哉（神奈川県立横浜国際高等学校教諭）

「「高校世界史」と「認識としての世界史」：指導要領と世界史探究の教科書から」

特別例会（2023年11月19日、大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホール）

「日本と世界が出会うまち・堺 2023」研究発表会

第155回例会（2023年12月16日、大阪大学豊中キャンパス全学教育推進機構

管理・講義A棟1階共A102教室）

特集「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第6回

勝山元照（親和女子高等学校校長補佐）

「「歴史総合」の原点確認と実践的課題について」

井垣俊樹（日本史M1）・岩田達也（西洋史M1）・原田英範（東洋史M1）・三上慧ロス（西洋史M1）

「『岩波講座世界歴史』を用いた「世界史探究」教科書記述の再検討」

第156回例会（2024年1月20日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第7回

峯陽一（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授）

「自律と連帶の夢—20世紀の冷戦秩序を「南」から照射する」

コメント：竹村景子（大阪大学人文学研究科教授）

「アフリカ大陸について日本で教え学ぶ意味とは」

林裕文（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校教諭）

「現代史学習を充実した学習にするには？～21世紀に生まれた高校生と22世紀を見据えた学びをするために～」

第157回例会（2024年3月16日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「『岩波講座世界歴史』最新版から考える歴史学と歴史教育の架橋」第8回

木畠洋一（東京大学・成城大学名誉教授）

「歴史のなかの現代世界：『岩波講座世界歴史』22～24巻の編集作業から」

コメント：成田龍一（日本女子大学名誉教授）

「世界史のなかの「日本」/日本の「日本」」

大橋康一（立命館守山高等学校教諭）

「冷戦後をどう教えるのか」

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2023」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2023」プロジェクトについて、今年度も昨年に引き続き、特別例会という形で開催した。今年度は大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホールを会場とする対面開催が実現した。

大阪大学歴史教育研究会 2023 年度世話役・事務局

■代表（共同代表）

秋田 茂 (大阪大学大学院人文学研究科教授)
飯塚 一幸 (大阪大学大学院人文学研究科教授)
堤 一昭 (大阪大学大学院人文学研究科教授)

■高校・中学教員側世話役

大西 信行 (中央大学文学部特任教授)
置村 公男 (六甲中学校・高等学校教諭)
川島 啓一 (同志社高等学校教諭)
澤野 理 (神奈川県立逗子高等学校教諭)
西村 嘉高 (青山学院高等部教頭)
藤田 弘晃 (奈良県立奈良高等学校教諭)
矢景 裕子 (神戸大学附属中等教育学校教諭)
八木 啓俊 (大阪府立淀川清流高校教諭)
矢部 正明 (関西大学中等部・高等部教諭)
吉嶺 茂樹 (北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭)

■研究会事務局

猪原 達生 (大阪大学大学院人文学研究科特任研究員／東洋史学)
野口 駿之介 (大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学)
北山 航 (大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／日本史学)